

県民だより

さががすき。

saga ga suki

2025

6

令和7年6月号

No. 534

毎月発行

特集

路線バスで行く ゆるっと佐賀旅

県民だより さががすき。

2025

6

令和7年6月号
毎月発行 No.534

発行/佐賀県 広報広聴課
佐賀市城内一丁目1番59号
☎0952(25)7219

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

次世代へつなぐ佐賀の志
かたりぐさ

「浮立面」とともに生きる



浮立面に向き合う中原さん

「浮立面」は、佐賀県の南西部に伝わる民俗芸能・面浮立で舞手がかぶる鬼面。楠や桐を彫り上げ、白木の素朴さや漆の艶を生かした仕上げが特長。鹿島市でその伝統芸能を支える浮立面を長年彫り続ける中原恵峰工房の中原さんにお話を伺いました。

「もともと浮立面は、各地区の手先の器用な人や大工さんが作っていました。だんだんと作り手がいなくなり、元の面をまねて作ってほしいと頼まれたのがきっかけです。地区ごとに色や形が違いため、実物を借りて今までもずっと独学で面作りを学んでいます」と話します。現在、中原さんは数少ない担い手の一人で、息子の博和さんに面作りの想いを伝えています。

File
74



中原恵峰工房
なかはら けいほう
中原 恵峰さん



催事で面作りの技術を披露

「浮立に使われる大切な面だからこそ魂を込めて彫っています。面作りで一番難しいのは目。2、3ミリ違うだけで表情が変わってきます。だからこそ毎日面を作るのですが、納得するまで一生かかると思っています。だから面白い」と語る中原さん。70年間ほとんど休みなく工房に通い続け、彫ることは寝食と同じ、暮らしの一部になるほど。面作りを「道」と語る中原さんは、各地のイベントや催事でその技を実演する活動も行っています。伝統芸能を守る想いを技術と共に伝えながら、今日も面と向き合い続けます。

問 中原恵峰工房
☎0954(62)0872

読者プレゼント

毎月抽選で
8名様に当たる!



今月は 大富牧場
フライングカウ(みやき町)

牧場プリン3
(4個入り)

いぼりたての生乳で作った
自家製プリン!

住所・氏名・電話番号・クイズの答え・本誌の感想を書いて
下記応募先へ、はがき、FAX、Eメールでご応募ください。

6月号 キーワード クイズ 次の○に入る言葉(アルファベット)をお答えください。

●唐津・玄海エリアでアクティビティを楽しむ!

○○○○プロジェクト

ヒント P.4(県政トピックス①)で紹介。「唐津・マリンアクティビティ・パーク」の頭文字です!

応募先 〒840-8570(住所不要) 佐賀県 広報広聴課
県民だより「さががすき。」6月号プレゼント係
FAX 0952(25)7263 ☎dayori@pref.saga.lg.jp

締め切り 6月20日(金) ※郵送の場合は当日消印有効
※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます

★5月号クイズの答え → バックヤード

お問い合わせ

▶ 県民だより「さががすき。」についてのご質問、ご意見は

佐賀県 広報広聴課 ☎0952(25)7219 FAX0952(25)7263
☎dayori@pref.saga.lg.jp

▶ 県の業務に関するお問い合わせはこちらまで ☎0952(24)2111(代表)

▶ 県民だより「さががすき。」ホームページ 佐賀県 県民だより 検索

※プレゼント応募の際にいただいた個人情報(住所・氏名など)は、当選者への賞品発送の連絡のみに使用します。発送と連絡、ご意見のとりまとめは県が業務委託契約を結んだ事業者が行い、ほかの事業者には提供することはありません。皆さまからいただいたご意見は、個人情報に関する部分を除いて関係課へ送り、今後の施策の参考とする場合や、県のSNSなどで紹介することがあります。

SAGA SELECT

～夏の前奏～

そろそろ梅雨入り。大切なあの人と佐賀の
“ちょっといいモノ”で爽やかな日常が過ごせます。



優しさあふれる色合いの肥前びーどろ。
虹の輝きを眺めながら、気分をリフレッシュ。



花の種類で味が変わるのはちみつ。贈り物にもピッタリです。



彩り豊かな扇子で涼しい風を。夏の準備を始めませんか?

取り扱い店舗



サガマド



コムボックス佐賀駅前1階
(佐賀市駅前中央)
☎0952(37)8928



サガエア

九州佐賀国際空港
旅客ターミナルビル2階
(佐賀市川副町)
☎0952(46)2080

日常を彩る、佐賀県こだわりの食品や雑貨を多数取り揃えています